

名古屋商工会議所 鯨の会
会員各位

新型コロナウイルス感染拡大と鯨の会活動について

平素は鯨の会の運営にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の脅威が続いていることを受け、名古屋商工会議所鯨の会令和二年度の活動を当面の間は中止とし、定例会は開催しないことといたします。

次年度役員予定者として各委員会が既に7月から11月までの定例会の準備を進めておりましたが、3月31日開催の第3回正副会長委員長予定者会議で討議の結果、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは鯨の会の活動を行うことは困難であり、会員の健康と安全守ることを最優先とすることが必要であると考えて判断をいたしました。

予定しておりました事業計画(案)及び収支予算(案)をいったん白紙に戻し、経費の支出を維持固定費のみとするため、年会費もご請求いたしません。但し、新型コロナウイルス感染症による健康と安全への脅威がなくなり、活動を再開できる目途がついた時には臨時総会を開催し、開催可能な定例会の予算を皆様にご承認いただいたうえで、必要な金額を臨時会費としてご請求させていただきます。

令和二年度は、『互譲互助(ごじょうごじょ)』という、日本人が古くから大切にしてきた「お互い」からできている和の精神を年間テーマに掲げて準備をまいりました。このテーマに基づいて、会員が集まりたくても集まらない、各委員会が計画した定例会を開催したくてもできないという思いをコロナ後の我々の行動につなげていきたいと考えております。

とにかく今は、家族や会社を守るために想像力を働かせて、最悪を想定して、最大の防御をするということと一緒に考えて実行していきましょう。

皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

名古屋商工会議所鯨の会 令和二年度会長予定者

棚橋 顯